

## IT21 の会(平成 17 年 7 月)第 90 回議事録

日 時:平成 17 年 7 月 2 日(土) 14 時 30 分～17 時 00 分

場 所:東京二十三区清掃一部事務組合 港清掃工場

出席者:23 名

### 配布資料

- ・ 0507-1 IT21 の会 2005 年 7 月例会のご案内(内藤雄介氏)
- ・ 0507-2 IT21 の会 第 9 期をはじめるとあって(IT21 の会第 9 期役員)
- ・ 0507-3 IT21 の会 委員・WG メンバの改選について(同上)
- ・ 0507-4 東京都内の一般廃棄物処理事業における IT 技術の利用状況と展望(二階堂氏)
- ・ 0507-5 港清掃工場[パンフレット](同上)
- ・ 0507-6 溶融スラグ(人口砂)[パンフレット](同上)
- ・ 0507-7 出席表(内藤雄介氏)

### 議 事

1. 議事および資料確認 内藤雄介氏
2. 第 9 期役員の所信表明 第 9 期役員(小牛田尋志氏)

小牛田会長,小瀬木副会長,長久武会計役員,阿部誠運営役員,それぞれから今期の抱負が述べられた。今期の活動方針のスローガン(発表しやすい,参加しやすい,魅力的な)が発表された。各スローガンに対する具体的な施策の案が紹介された。
3. 委員・WG メンバの改選,サブワーキンググループ 第 9 期役員(小瀬木浩昭氏)

委員と WG 等の活動の概要が紹介された。合宿企画 WG の委員への名称変更が提案され,承認された。10 周年企画 WG の発足が提案され,承認された。担当者の募集は,ML 等を介して行っていく。合宿企画で 3 名以上,10 周年企画で 4 名以上。IT21 電子化検討 WG については,ホームページ委員とマージする方向でリセットしたい(児玉氏より)。
4. 東京都内の一般廃棄物処理事業における IT 技術の利用状況と展望 二階堂久和氏

都内の一般廃棄物の処理事業について,運営組織の現状と工場での IT 技術の利用状況が説明された。見学では,ごみの搬入から消却灰までの処理の流れが紹介された。

運営組織は,「一部事務組合」と呼ばれる自治体(特別地方公共団体)で,一つの自治体で行うことが非効率・不可能な事業を共同して行う組織である。東京都では,清掃と競馬がある。ごみは,法律で指定された 20 種類の産業廃棄物と,それ以外の一般廃棄物に分けられる。前者は排出者が,後者は自治体が処分の責任を負う。後者の処分について,収集作業を区役所が,中間処理(焼却)を一部事務組合が,最終処分(埋立て)を都が管理している。一部事務組合の法的位置付けが議論されている。

主要な IT 技術の利用状況が紹介された。(1)ごみの収集量,工場間配分量,焼却量を適正に配分するシステム。区役所と一部事務組合をネットワークで接続。ごみの量は工場の出入り口でリアルタイム計測。(2)工場の稼働状況を集計,保存,編集するシステム。(3)プラント制御システム。化学工場と同様のもの。リアルタイム処理が基本であるため TCP/IP ではない。(4)燃焼管理システム。ごみという不均一な燃料から,公害管理を向上させ,発電品質を向上させる。未成熟技術領域が大きい。ベテランの大量退職問題対応策も兼ね,エキスパートシステム(人工知能)の実用化レベルへの改良などが課題。(5)事務用 LAN など。
5. 初参加者の自己紹介:4 名

以 上(記載者:横井弘文 記)